

コミュニティ活動善行者表彰選考基準

1. 次の必須項目を全て該当している者（団体）であること

- (1) 市内で行われている活動であること
- (2) 役職としての活動でないこと
- (3) 営利を目的としない活動であること
- (4) 過去に同等以上の表彰を受けていないこと

※ 該当する表彰：自治功労表彰、有功表彰、社会福祉大会（福祉功労表彰、善意表彰）、交通安全表彰、環境衛生協議会長表彰、青少年健全育成表彰

- (5) 善行頻度・期間が選考基準で定めたとおりであること
- (6) 市や県の委託事業や補助事業でないこと
- (7) 宗教活動や政治活動、特定の政党を支持する活動でないこと
- (8) （団体の場合）市民が構成員に含まれていること
- (9) 活動場所が表彰候補者の所有している施設等の整備や清掃でないこと
- (10) 推薦は1団体につき1名又は1団体であること

2. 善行行為の内容

種別	内容
公共生活への貢献	公共物の愛護、公衆道德の普及・実践、公共の利益となる工夫・研究、その他公共社会・公共団体・地域・学校等のために尽くした行為
地域コミュニティの醸成	コミュニティの形成・支援・活性化等の促進に尽くした行為
環境美化	清掃、樹木又は草花の植栽等による生活環境美化改善、若しくは環境衛生の保持改善に尽くした行為
自然と文化継承	自然環境の保護改善、又は文化継承、文化財の保存・保護に尽くした行為
その他	上記以外の継続的善行

3. 善行の頻度・期間等

- ① 現在継続中のもの（ただし、病気、その他のやむを得ない理由による行為の中断は継続とみなす）
- ② 継続期間は、善行の種別、内容によって異なるも自主的で積極的な意思によって行っているものであり、長年にわたり常時又は定期的に継続され、かつ、社会的評価が高いもの
- ③ 善行行為の頻度、期間の要件は、次のとおりとする。

・ 毎週3回以上で 5年以上継続	・ 毎月1回以上で15年以上継続
・ 毎週1回以上で10年以上継続	・ 毎年1回以上で20年以上継続

※時期や季節等による活動で基準に沿った頻度（回数）の表現が難しい場合は、活動日の合計を週又は月、年換算するものとする。

4. 次の項目等について選考委員が審査し、選考する。

- (1) 公益的で地域へ貢献している活動であるか。
- (2) 善行内容・期間等は基準に該当しているか。
- (3) 活動の動機・経緯は妥当か。
- (4) 地域での認知度・評価はどうか。
- (5) 活動のエリアはどうか。
- (6) 活動の持続性・発展性はどうか。（団体のみ対象）